

コケモモ ツツジ科
Vaccinium vitis-idaea L.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：—



大山 2009.6.26/撮影：矢田貝繁明

■**選定理由**：大山と氷ノ山の山頂部にわずかに分布する常緑低木。種子生産はほとんどなく、個体群も縮小ぎみ。存続に強い懸念がある。

■**特徴**：高山の乾きぎみの草地や岩場に生育する常緑の小低木。茎は地をはい、高さは20 cm程度。葉は互生し、革質で長楕円形。先は丸い。裏面には淡い黒点が散生する。花期は6-7月、鐘形で帯紅白色の花をつける。花冠の先は4裂。径1 cmほど。紅色球形の液果をつける。氷ノ山では群落の広がりがいよいよ小さくなり、開花も確認されておらず、絶滅のおそれが非常に高い。大山の個体群は少数の結実もあり、多少ましな状況。

■**分布** 県内：若桜町，大山町，琴浦町。県外：北海道-九州の高山（四国と九州ではまれ）。北半球の寒帯に広く分布。

■**保護上の留意点**：採取防止。自生地への保護。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：54。